

平成 20 年 9 月 29 日 岐阜経済記者クラブ 配布資料		
担当部	担当者	電話番号
企業支援部	主任研究員 齋藤恭嗣	058 - 277 - 1085

「岐阜県の景況調査（2008 年 第 3 四半期）」について

概況：景況感は引き続き受注量の減少や仕入価格の高止まりにより、小幅ながら更に低下。

今回の調査結果の特徴

「景況感」は、引き続き受注量の減少や仕入価格の高止まりにより、小幅ながら四期連続で低下し、低い水準での推移となった。

販売価格に若干の転嫁が進み売上高に反映はされているが、仕入価格の高どまりがあり景況感は悪い。前回調査において、来期の見通し（今期）は悪いながら多少上向きの予想をしていたが、食の安全問題等の状況悪化要因もあり、景況感を下げたのも一因である。

業種別に見ると、食品、木材・家具の「景況DI」が大きく低下しており、特に食品は、売上高、生産量、受注量、採算等が大きく悪化している。また、機械も輸出DIが低下するなど各DIが軒並み悪化している。

来期見通しは、再び若干の上昇を予測しているが、依然として低い水準にあり、楽観できないと思われる。

DI別の状況

景況DIは、3.6ポイント低下し 72.6となり、さらに低下した。製造業では、「金属製品」が大きく上昇したほか「繊維・衣服」「紙・パルプ・印刷」「化学・プラスチック」で上昇し、その他の業種で低下した。特に「木材・家具」「食品」が大きく低下した。非製造業では、「飲食店」が大きく上昇したほか「建設」で上昇し、その他の業種で低下した。

売上高DIは非製造業を中心に上昇し、小幅ながら七期ぶりの上昇となった。製造業では、「化学・プラスチック」「窯業土石」「金属製品」で上昇し、その他の業種で低下した。特に、「食品」「繊維・衣服」が大幅に低下した。非製造業はすべての業種で上昇した。「飲

食店」「建設業」の上昇が目立つが、「建設業」の原数値は依然低い水準にある。

輸出D Iは「食品」が50.0ポイントと、大きく低下しているが「窯業土石」が45.8ポイント、「金属製品」が37.7ポイント上昇しているため、総合的に5.0ポイント上昇している。

生産量D Iは、ほぼ横ばいながら八期連続で低下した。製造業では、「化学・プラスチック」「金属製品」が大きく上昇したが、「窯業土石」「繊維・衣服」は横ばい、その他の業種は低下した。特に「食品」「木工・家具」で大きく低下した。「建設業」は上昇している。

受注量D Iは四期連続で低下した。製造業では「化学・プラスチック」が大きく上昇したほか「窯業土石」「金属製品」が上昇したが、「木材・家具」は横ばい、その他の業種は低下した。特に「食品」が大幅に低下した。非製造業では「建設」「卸売」「飲食店」は上昇したが、その他の業種は低下した。

在庫量D Iは低下した。製造業では「食品」「繊維・衣服」「木材・家具」が上昇し、非製造業では「飲食店」のみ上昇した。

販売価格D Iは製造業では低下し、非製造業では上昇した。製造業では「紙・パルプ・印刷」が大きく上昇したほか「食品」「化学・プラスチック」「金属製品」が上昇したが、その他の業種は低下した。非製造業では「建設」「運輸・通信」「卸売」が上昇した。

原材料仕入価格D Iは製造業、非製造業ともに上昇した。製造業では「食品」「木材・家具」「化学・プラスチック」が上昇し、非製造業ではすべての業種で上昇した。

採算D Iは製造業では上昇し、非製造業では低下した。特に「食品」で大きく低下し、「化学・プラスチック」で大きく上昇している。

資金繰りD Iは製造業、非製造業ともに悪化した。

借入れ難易感D Iは悪化した。「木工・家具」が大幅に悪化した。

設備投資実施D Iは「金属製品」「機械」「卸売」「サービス（企業関連）」以外は上昇した。

設備投資意欲D Iは低下した。「食品」が大幅に低下した。

雇用D Iは十九期連続で「不足」超過ながらも上昇傾向。